

新型コロナウイルス対策の切り札とされる新型コロナワクチン。
医療従事者に先行して接種し、医療が提供できる体制を守る



目次

P2 特集

新型コロナ克服し、 新時代を拓く

～令和3年度当初予算が成立～

P6 県政トピックス

- 若者定着をアプリで後押し
- コロナワクチンの優先接種

熱中症にご注意を

4月下旬から5月にかけては、急に暑くなることがあり、熱中症で救急搬送される人が増えてきます。体が暑さに慣れていないこの時期は、特に注意が必要。外出の際は、日傘や帽子で日差しを避け、小まめに水分補給をしましょう。

☎ 県庁健康政策課

☎0857-26-7861 F 0857-26-8143

<https://www.pref.tottori.lg.jp/68680.htm>



DATA

県人口/549,925人(男 263,027人、女 286,898人)
世帯数/221,653世帯 (2021年3月1日現在推計)

新時代を拓く^{ひら} 新型コロナ克服し、

総額3,567億5,929万円の令和3年度当初予算が成立しました。県は、新型コロナ対策に重点を置き、医療・検査体制の強化や経済回復に最優先で取り組みます。さらに、二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた「グリーン社会」の実現や新しい人の流れの創出など、コロナ後を見据えた政策も機動的かつ効果的に展開。4つの柱に沿って、主な事業の概要を紹介します。

新型コロナを乗り越えて新時代を拓く

- 新しい人の流れの創出
- 観光立県の復興
- グリーン社会の実現とエスディージーズSDGsの実践
- 子育て環境・教育機会じんざいの充実による人財づくり

新型コロナとたたかう

- 医療環境の整備・充実
- 保健衛生・検査体制の強化
- 感染防止対策の強化

安全・安心なふるさとづくり

- 一人一人に寄り添う
- 健康・スポーツによるふるさとづくり
- 安全・安心の基盤強化
- 地域防災力の向上

新型コロナから経済・雇用と暮らしを守る

- コロナ禍を乗り越える経済・雇用対策
- 暮らしを支える デジタルトランスフォーメーション
- デジタル化の推進(DX)
- 強い農林水産業の実現

令和3年度
当初予算の4つの柱



令和3年度当初予算の各事業の概要は県公式ウェブサイト「とりネット」で公開しています。
http://db.pref.tottori.jp/yosan/R3Yosan_Koukai.nsf/index.htm

新型コロナとたたかう

新型コロナ克服に向けて、医療環境・検査体制のさらなる充実、感染防止対策の強化などを行います。

NEW 新型コロナウイルス感染症医療環境整備等事業 95億1,505万円

新型コロナウイルス感染症の検査や治療などを行う医療機関に対し、PCR検査機器や人工呼吸器などの整備費用を補助するほか、感染症患者を受け入れるための病床の確保を行います。

NEW 新型コロナウイルス感染症検査体制整備事業 7億1,655万円

感染拡大を防ぐため、圏域ごとに設置しているPCR検査センターやかかりつけ医、身近な医療機関で検査が受けられる体制を継続し、積極的に検査を実施します。

NEW 保健所機能等体制強化事業 7,420万円

保健所に配置する嘱託医、保健師、看護師などを増員し、新型コロナの相談・調査の体制を強化。また、軽症者向けの宿泊療養施設への看護師の常駐と、医師による健康観察など、安心して療養できる環境を確保します。

NEW 徹底した感染拡大予防対策による安心創出事業 1億円

換気扇や間仕切りの設置をはじめ、感染予防設備を導入する飲食・理美容店や宿泊施設などに、上限20万円(補助率2分の1)を助成。また、業界ごとにセミナーを開催し、感染予防対策の手順書の作成を支援するなど、「新型コロナ対策認証事業所」の拡大に取り組みます。

新型コロナ対策認証事業所

各業界のガイドラインに沿って感染予防対策手順書を作成・実行し、県の立ち入り検査と専門家の評価により、その対策が認められた事業所。認証事業所の一覧は、ウェブページで確認できます。



<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1214173.htm>

新型コロナ対策認証事業所は左のステッカーが目印



新型コロナから経済・雇用と暮らしを守る

観光・飲食業の応援や事業継続支援、デジタル技術の活用などにより、経済・雇用と県民の暮らしの回復に向けて取り組みます。

NEW 新型コロナから立ち上がる観光支援事業 2億円

県内外の感染状況を踏まえながら、県内観光地の魅力発信やキャンペーンの実施など、機動的な観光需要の回復に取り組みます。



日本海に面し、眺望が楽しめる皆生温泉(写真提供=皆生温泉旅館組合)

NEW 新型コロナ克服特別金融支援事業(新型コロナウイルス感染症対応地域経済変動対策資金) 4億7,643万円(融資枠400億円)

新型コロナウイルスの影響によって売り上げが減少した中小企業や個人事業主などに対し、無利子・保証料なしの制度融資を行います。

NEW コロナ後を見据えた飲食店応援事業 3,250万円

非対面型注文システム、電子決済サービスなどのデジタル化の導入や、店内メニューの加工品化といった新たな業態導入に取り組む飲食店・食品加工事業者などを支援します。

拡充 Society5.0 推進事業 1,548万円

インターネットへ常時接続できる機能を備えた車「コネクテッドカー」を地域の公民館や集会所などに派遣し、現地で役場窓口と同様の行政サービスを提供する実証実験を、市町村と連携して実施します。

Society5.0 とは

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新たな社会。

新型コロナを乗り越えて 新時代を拓く

新しい人の流れの創出や「グリーン社会」の実現、未来を担う人財づくりなど、コロナ後を見据えた社会づくりに取り組みます。

NEW 「ふるさと来LOVE とっとり」関係人口 創出事業 7,436万円

都市住民に、副業・兼業、ワーケーション(※1)など、鳥取県との多様な関わり方が生み出す魅力を発信するほか、地元企業とのマッチングを推進。また、都市部の人が行う地域貢献活動に対し、カニや和牛などの特産品を返礼する仕組みづくりを行います。

(※1)ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた言葉。観光地やリゾート地など普段とは違う場所で仕事をしながら、余暇を過ごすこと

NEW コロナ時代に対応した公共交通変革事業 1,900万円

バスの時刻表や経路などを、インターネット上のさまざまな乗換案内サイトで検索できるようにするほか、キャッシュレス決済の導入に向けた実証実験など、デジタル社会に対応した基盤整備を実施。また、スーパーマーケットやコンビニなどの施設を活用したバス待合所の整備を支援します。

NEW 学校教育情報化推進事業 9,538万円



授業でパソコンを使うと、インターネットで調べたことや作成した資料を簡単に共有できる(写真提供=岩美町立岩美中学校)

ギガ GIGAスクール構想(※2)が本格始動する本年度を「学びの改革元年」と位置付け、学校教育の情報化を加速。大手IT企業とも連携し、これからの社会に対応する資質・能力を持った人材を育成します。

(※2)全国の小中学校に1人1台の学習用端末(パソコン、タブレット端末)とネットワークを一律に整備する国の施策

NEW 家庭の省エネ・再エネ快適生活促進事業 3,209万円

家庭での省エネを実践するキャンペーンを実施するほか、市町村と連携して、太陽光発電システムをはじめとする家庭用小規模発電設備などの設置費用を助成します。

安全・安心なふるさとづくり

一人一人に寄り添う福祉施策、誰もが楽しめるスポーツ環境の整備、地域防災力の向上など、安全・安心なふるさとづくりを進めます。

拡 障がい者スポーツ鳥取モデル構築事業 2,917万円



トレーニングを指導するノバリアのスポーツ指導員。車椅子に乗ったまま使用できる機械も設置

障がい者スポーツの指導者育成・活用、拠点施設である鳥取ユニバーサルスポーツセンター「ノバリア」(鳥取市布勢)の運営のほか、中・西部地区でも既存施設を活用し、ノバリアと連動したスポーツ教室を開催。誰でもスポーツを楽しめる環境をつくります。

NEW ヤングケアラー支援事業 230万円

家族の介護や世話などの役割を担い、自身の生活に影響が及んでいる「ヤングケアラー」について、相談窓口を新設し、当事者の悩みに寄り添って支援します。また、教育・福祉関係者などの支援機関を対象に研修会を実施して、サポート体制を強化します。

NEW みんなでかぶろう! 守ろう! ヘルメット着用推進事業 339万円

自転車用ヘルメットの着用に自主的に取り組む企業を支援します。また、観光客を対象としたレンタサイクルサービスを行う事業者に対して、ヘルメット購入の費用を助成します。

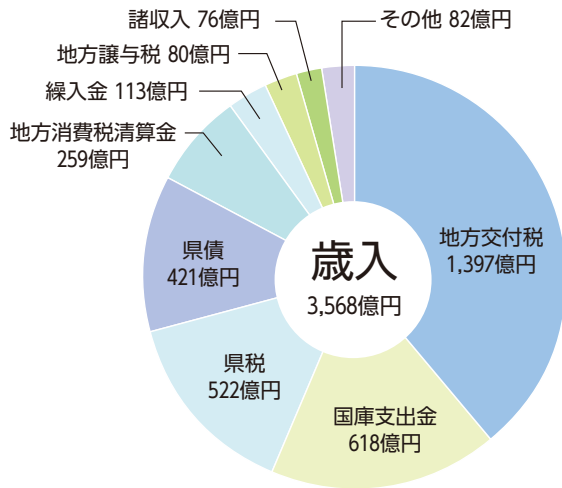
NEW 地域のみんで取り組む流域治水 1,109万円

おおろ 大路川流域をモデルとして、行政や地域住民など流域内の関係者が協働して治水を行う「流域治水」に取り組み、近年の気候変動による水害リスクに備えて防災対策を強化します。

■ 一般会計当初予算3,568億円の内訳

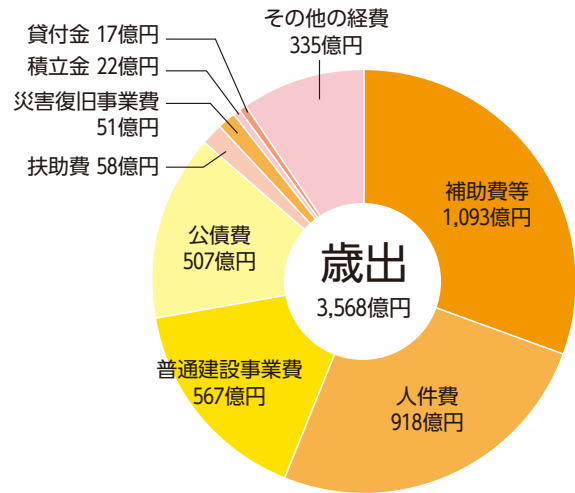
歳入

新型コロナの影響で県税関連収入は落ち込んだが、国の新型コロナ対策交付金等による国庫支出金の増加と、人口減少の進む地方に重点的に配分される制度の継続などによって地方交付税が増加。



歳出

新型コロナ対策として、医療・検査体制の整備や経済の回復に向けた取り組み、さらにはコロナ後にに向けた新しい人の流れの創出、安全・安心の基盤強化などに重点的に配分。

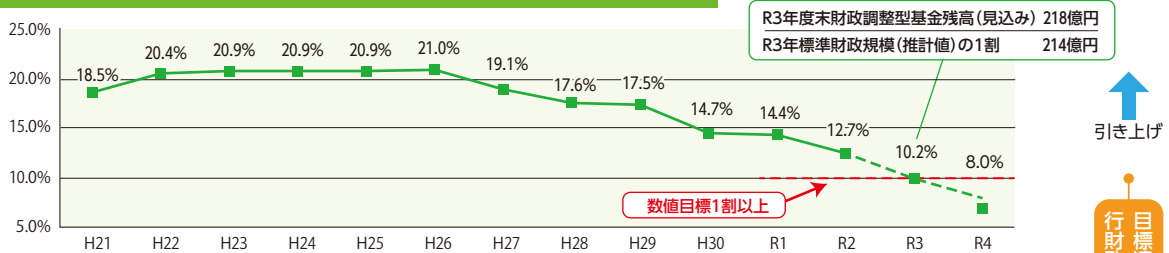


■ 財政誘導目標 これまでの財政誘導目標により実現した財政健全化の水準を維持していきます。

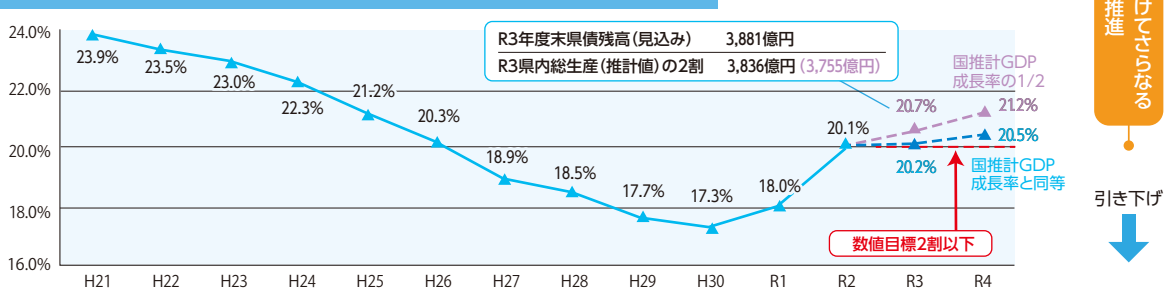
数値目標

- ①令和4年度の財政調整型基金残高が標準財政規模(※3)の1割以上 【推計: グラフ1】
- ②令和4年度の県債残高(臨時財政対策債等除く)が県内総生産(名目)の2割(※4)以下 【推計: グラフ2】
- ③当初予算編成時でのプライマリーバランス(※5)の黒字化(臨時財政対策債除く)

【グラフ1】 標準財政規模対比の財政調整型基金残高の推移



【グラフ2】 県内総生産(名目)対比の県債残高(臨時財政対策債等除く)の推移



(※3) 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

(※4) 本県の類似団体の平均: 20.6%

(※5) 基礎的財政収支。黒字は、将来への負担を増加させることなく健全な財政運営が行われていることを示す

問 県庁財政課 ☎0857-26-7044 📠0857-26-8124 ✉zaisei@pref.tottori.lg.jp



就活に「とりふる」役立てて ～若者定着をアプリで後押し～

情報発信アプリ「とりふる」

県内の企業ガイド・求人情報、就職相談会や若者交流会のお知らせなどを随時配信するアプリ。また、未来人材育成奨学金支援助成金(下記参照)をはじめ県内就職に最適な情報も掲載。アプリストア(App Store)または「Google play」から無料でダウンロードできます。



問 ふるさと鳥取県定住機構

☎0857-24-4740 F0857-24-4736

■未来人材育成奨学金支援助成金

県内の次の職種に就職する大学生・専門学校生や既卒者などの奨学金返還を助成します(上限216万円)。

製造業・IT企業・薬剤師・建設業・建設コンサルタント、旅館・ホテル業・民間保育士・幼稚園教諭、農林水産業



問 県庁ふるさと人口政策課

☎0857-26-7648 F0857-26-8196

<https://www.pref.tottori.lg.jp/jinkouseisaku/>



学生が、卒業後の人生を過ごす場所を決める重要な要素に仕事があります。県は、鳥取県内での就職・暮らしの魅力発信することで若者の定着を後押ししています。

近年、年間約2千人のペースで移住者が増える一方、総数は減少が続く県人口。特に15～24歳の転出が転入を大幅に上回る事態は深刻です。県内には、数では都会に及ばずとも、世界トップシェア

を誇る、あるいは自由な働き方ができるなど魅力ある企業が数多くあります。スマートフォンアプリ「とりふる」は、そうした企業の情報や相談会など就職活動に役立つ情報を配信。さらに、県内で働く若者の生の声や就活・就職時に利用できる助成制度のほか、暮らしを楽しむ情報も掲載されています。

アプリ発信のイベントに参加すると、電子マネーに交換できるポイントがもらえます。

高齢者に次ぐ順位、確認して ～コロナワクチンの優先接種～

接種順位が上位の人の範囲(65歳未満)

■基礎疾患のある人

○以下の病気・状態で通院または入院している人

慢性の呼吸器の病気・心臓病・腎臓病・肝臓病、治療中または他の病気を併発している糖尿病、血液の病気、免疫の機能が下がる病気、免疫の機能を下げる治療を受けている、免疫の異常に伴う神経疾患・神経筋疾患、神経疾患・神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態、染色体異常、重症心身障害、睡眠時無呼吸症候群、重い精神疾患、知的障害

○BMI(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))30以上の人

■「高齢者施設等の従事者」

高齢者が入所・居住する介護保険施設や障害者施設などで利用者に直接接する職員

※いずれも詳細は厚生労働省ウェブページに掲載

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00218.html



問 県庁新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

☎0857-26-7976 F0857-26-8168

感染拡大防止を目的に始まった新型コロナウイルスの接種。希望者は順位に基づき、市町村が案内する医療機関や施設などでワクチン接種を受けることができます。重症化リスクの大きさから計画的に接種されるワクチンは「接種券」の郵送も段階的に。まず65歳以上の高齢者へ、その後、65歳未満の人へ市町村から送付されます。

65歳未満の基礎疾患のある人や「高齢者施設等の従

事者」は、高齢者に次ぐ優先接種者。基礎疾患のある人は、それを証明するための診断書は不要です。ただし、免疫不全がある、病状が重いなど、接種を慎重に検討した方がよい場合があるので、かかりつけ医とご相談を。

一方、「高齢者施設等の従事者」の優先接種には、該当者であることを示す、勤務先発行の「証明書」が必要。希望者は職場に意思を伝えておくことと手続きがスムーズです。



読者の声 (3月号の意見・感想から)

- 県政だよりと一緒に原子力防災ハンドブックが配布され、避難方法や避難場所を家族で話し合うきっかけになりました。(60代)
- 「ゲートキーパー」という言葉を初めて知りました。身近な人のささいな変化に気付ける人間でありたいと感じさせられました。(40代)
- 「とっとりデジタルコレクション」はとてもいい取り組み。図書館が開いていない時でも利用できてありがたいです。(20代)
- 特集を読んで、住宅の耐震化補助制度を初めて知りました。家が古いので、制度が利用できれば改修工事を検討したいです。(20代)
- カメカメおにぎりを作ってみました。歯ごたえが楽しめ、子どものかむ力も育ちそうですね。また作りたいです。(30代)



3月号には702人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

応募締め切り 5月20日(木)必着

しおみの

shiominoプレミアムスコーン チーズイン×ダブルピスタチオ (4個ずつ) [5名]

スコーンに使う牛乳、卵、バターは全てオーナー塩見さん厳選の県産品。ピスタチオをふんだんに加えた風味豊かな「ダブルピスタチオ」と、クリームチーズを包んで焼き上げた「チーズイン」が4個ずつ入ったセットです。



☎ パン工房大地の恵み(鳥取市国府町)
☎ 0857-37-2117

応募方法 クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見を書き、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



県内の企業ガイド・求人情報、就職相談会などのお知らせを随時配信するアプリ「〇〇〇〇」。〇に入るのは次のうちどれでしょう。

ヒントは
6頁

- ① とりふる ② ぱわふる ③ わっふる

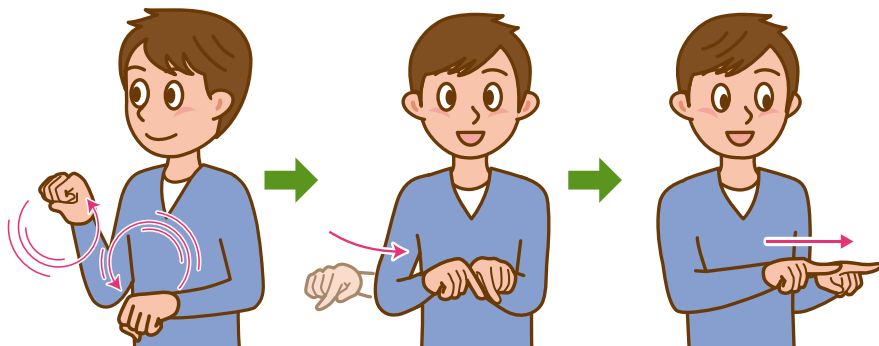
◎ 3月号のクイズの答えは「②ゲート」でした。



手話を覚えてみよう……「サイクリングに行きましょう」

県の日本海側約140kmを通るサイクリングルート「鳥取うみなみロード」。さわやかな海風を感じながら県内観光スポットを巡ることができます。

鳥取うみなみロードの詳細は、ウェブページをご覧ください。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/282838.htm>



自転車をこぐように、上下に置いた両手拳で垂直の方向に円を描いて交互に回す

胸の前に出した左手人さし指に向かって、右手人さし指を右から近づける

両手人さし指を揃え、左の方へ動かす



監修/公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ☎0859-30-3720 ☎0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



キャベツ・ナーラ

甘い春キャベツをカルボナーラ風に。

【協力】鳥取県食生活改善推進員連絡協議会

【材料】(4人分)

- キャベツ(千切り)……………360g
 - ニンニク(薄切り)……………2かけ
 - ソーセージ(斜め切り)……………8本
 - オリーブ油……………大さじ1と1/3
- (A)
- 卵……………2個
 - 牛乳……………大さじ4
 - 溶けるチーズ……………60g
 - こしょう……………少々

【作り方】

- ①(A)を混ぜて合わせておく。
- ②フライパンにニンニクとオリーブ油を入れ、弱火にかける。ニンニクの香りが出てきたら、ソーセージを加えて炒める。
- ③②にキャベツを加え、さっと火を通す。
- ④火を止め、フライパンをぬれ布巾の上に乗せる。①を加えて混ぜ、余熱で好みの硬さに仕上げる。

鳥取県民は野菜不足

「平成28年県民健康栄養調査」の結果によると、鳥取県民の1日の野菜摂取量(平均)は280g。目標の350gに70g及びません。野菜不足解消にぜひ、レシピをお役立てください。

2022年度から県または県立病院で勤務する職員の採用試験を行います。詳細は受験案内をご覧ください。

	大学卒業程度(事務・技術など全職種(※))	病院薬剤師
試験日	6月20日(日)	6月12日(土)
試験地	鳥取市、米子市、東京都、大阪市	大阪市、岡山市
受験資格	1986(昭和61)年4月2日から2000(平成12)年4月1日までに生まれた人 ほか	1962(昭和37)年4月2日以降の生まれで、薬剤師免許取得(見込み)の人
申込方法	ウェブページ(とっとり電子申請サービス)	郵送、持参
申込期限	5月17日(月)午後5時	5月28日(金)消印有効
申込先・問い合わせ先	県人事委員会事務局 ☎0857-26-7553 ㊟0857-26-8119 https://www.pref.tottori.lg.jp/jinji/ (※)事務(キャリア総合コース)は募集終了	県病院局総務課 〒680-8570 鳥取市東町1-220 ☎0857-26-7885 ㊟0857-26-8135 https://www.pref.tottori.lg.jp/byouinkyoku/

県職員採用試験の概要

広告 高齢者活躍人材確保育成事業

60歳以上の皆さんを応援します!

各種技能講習



草刈技能講習

剪定技能講習

調理補助スタッフ

ハウスクリーニング講習

整理収納基礎講習

傾聴スキル講習

介護補助講習

詳細は各講習1ヶ月前に
日本海新聞に
折込チラシを入れます。

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

TEL.0859-37-2531

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
URL <https://www.torisilver-ren.com>



地区	講習名	開催地	日程(予定)	定員
東部	草刈技能講習	鳥取	6月下旬	10
	剪定技能講習	鳥取	7月上旬	10
	調理補助スタッフ講習	鳥取	8月上旬	10
	ハウスクリーニング講習	鳥取	8月下旬	10
	整理収納基礎講習	鳥取	9月下旬	10
	介護補助講習	鳥取	11月上旬	10
中部	草刈技能講習	湯梨浜	6月中旬	10
	ハウスクリーニング講習	倉吉	8月下旬	10
	剪定技能講習	倉吉	9月中旬	10
	整理収納基礎講習	倉吉	10月上旬	10
	傾聴スキル講習	倉吉	11月中旬	10
西部	草刈技能講習	米子	5月下旬	10
	剪定技能講習	米子	6月上旬	10
	ハウスクリーニング講習	米子	7月中旬	10
	調理補助スタッフ講習	米子	7月下旬	10
	整理収納基礎講習	米子	9月上旬	10
	介護補助講習	米子	10月下旬	10

*広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。